

平成 24 年（2012 年）の硫黄鳥島の火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○ 2012 年の活動概況

1 月、5 月、8 月、11 月に実施した海上からの観測、1 月、8 月、11 月に第十一管区海上保安本部及び海上保安庁が実施した上空からの観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口及び中央部に位置するグスク火山火口から、従来より認められている少量の噴気が確認され、その状況に特段の変化は認められませんでした。

8 月及び 11 月に実施した赤外熱映像装置¹⁾による観測では、島内の地表面温度分布に特段の変化は認められませんでした。

また、1 月、5 月、8 月では、硫黄岳火口南西海岸で変色水が確認されませんでした。11 月に海上保安庁が実施した上空からの観測では硫黄岳火口南西海岸で変色水が確認されました。

- 1) 物体が放射する赤外線を感じて温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。



図 1 硫黄鳥島 火口の位置

■ 1 月 11 日の観測（気象庁地球環境・海洋部）



島南西側から見た硫黄岳火口



島東側から見たグスク火山火口

この資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

※ この記号の資料は第七管区海上保安本部及び海上保安本部のデータを利用して作成しています。

資料中の地図については、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『25000 分の 1 地形図』の複製したものを使用しています（承認番号：平 23 情複、第 492 号）。

■ 1 月 12 日の観測（第十一管区海上保安本部提供）※



島西側上空から見た硫黄岳火口内の噴気

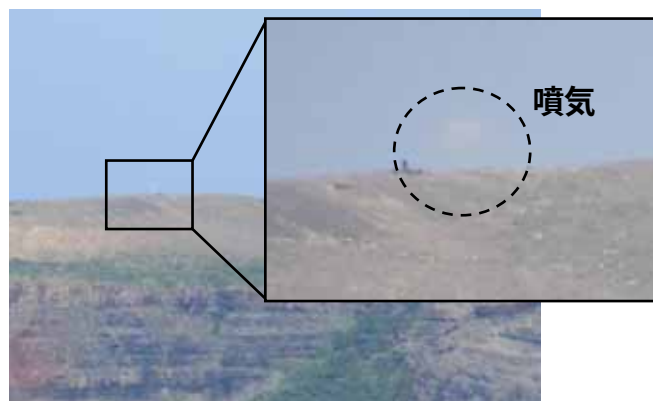


島南側上空から見たグスク火山

■ 5 月 7 日の観測（気象庁地球環境・海洋部）



島南西側から見た硫黄岳火口



島東側から見たグスク火山火口

■ 8 月 30 日の観測（気象庁地球環境・海洋部）



島南西側から見た硫黄岳火口

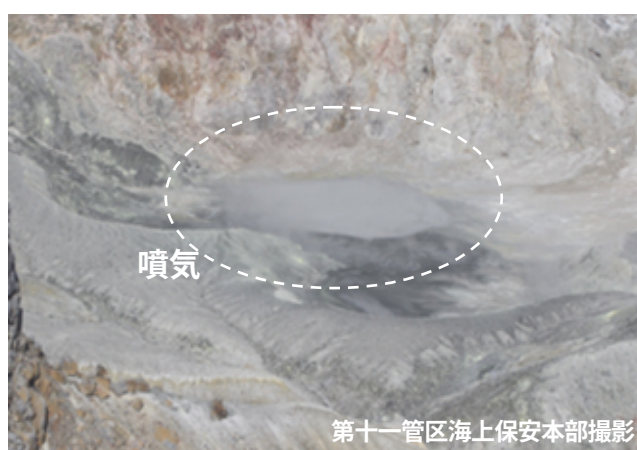


島東側から見たグスク火山火口

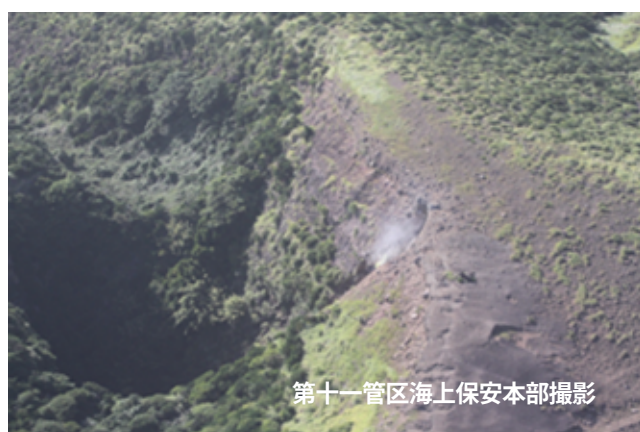
■ 8 月 24 日の観測（第十一管区海上保安本部提供）※



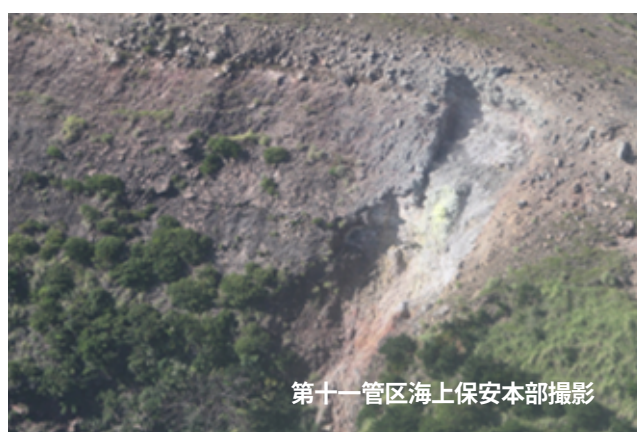
硫黄岳火口南東上空から撮影



硫黄岳火口南西上空から撮影



グスク火口南東上空から撮影

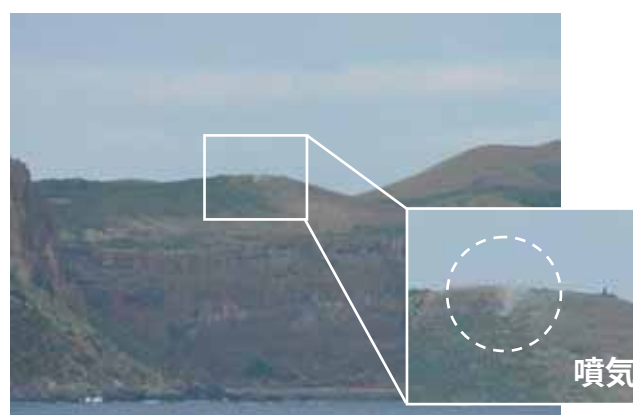


グスク火口南東上空から撮影

■ 11 月 19 日の観測（気象庁地球環境・海洋部）

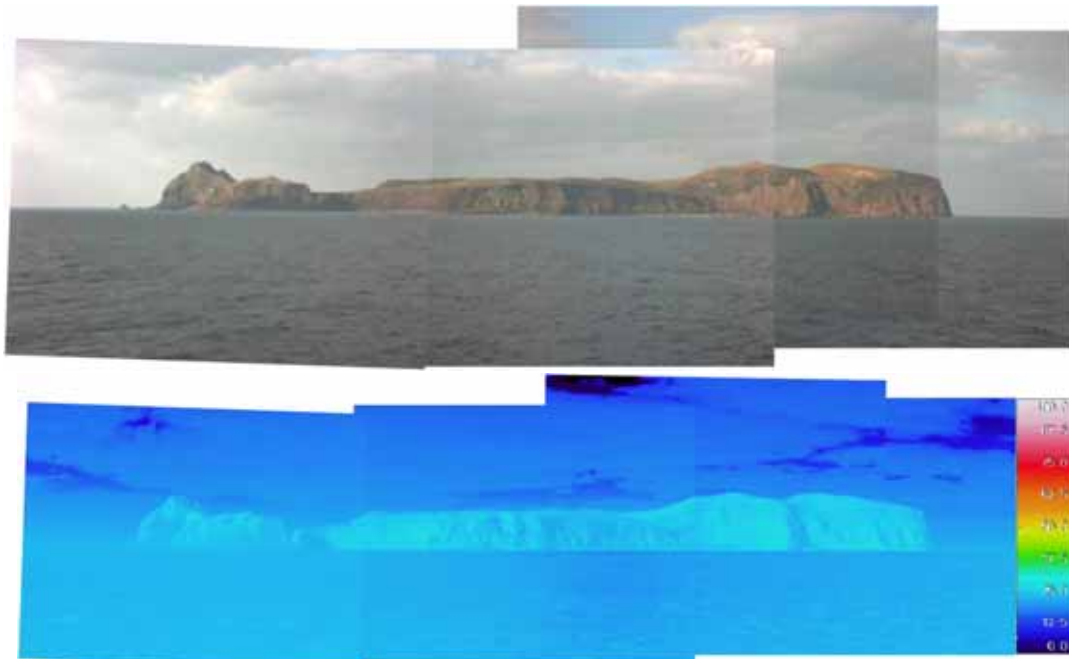


島南西側から見た硫黄岳火口



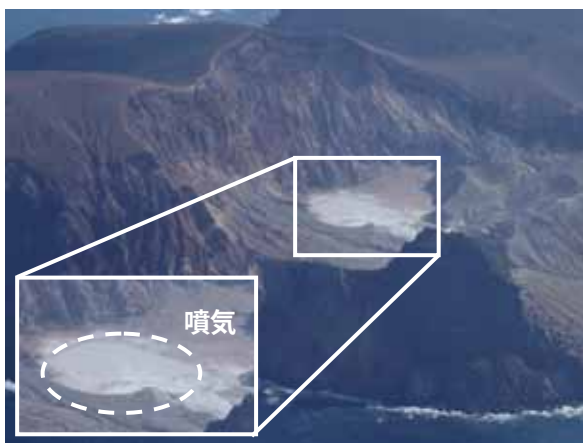
島東側から見たグスク火山火口

■11 月 19 日の観測（気象庁地球環境・海洋部）



硫黄鳥島 海上からの島の遠望と赤外熱映像装置¹⁾による地表面温度分布の状況
(島東側から撮影 上段:可視画像 下段:赤外熱映像)

■11 月 28 日の観測（海上保安本部提供）※



島南西側から見た硫黄岳火口



島東側から見たグスク火山火口



島南西側から見た硫黄岳火口南西海岸の変色水の状況